

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校

10/21

第19号

文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

第3回 トークイン双ヶ丘

10月21日（金）に第3回トークイン双ヶ丘を実施しました。当日は、第3回まとめテストが終了した日でしたのでテスト準備の疲れもあり、心配しましたがどの学年の代表生徒も元気に自分の思いを発表してくれホッとしました。今回のテーマは、「体育大会・文化祭を終えて」です。

1年1組

「努力し助け合ったからこそ楽しんでくやしい体育大会になったと思います。…… ぼくは、こう書いてきて結論は努力や友情があれば体育大会は勝てるということ传达了かったのです。」

※クラスが団結することの大切さを伝えました。

1年1組

「私はふと思いました。『歌いたくても歌えない人がいる。笑いたくても笑えない人がいる。でも私は、歌える、笑える。じゃあ『歌えない』とは決して言えない。この詩をみんなに訴えよう、届けよう』と。」

※クラス全員でしっかり合唱できた喜びを伝えました。

2年5組

「助け合い支えあって生活していく大切です。体育大会、文化祭で私はどちらかというと足を引っぱってしまうタイプです。しかし、毎年支えてくれるのはクラスみんなで『このクラスでよかった』と思うきっかけになりました。」

※体育大会、文化祭で学んだことをわかりやすく伝えました。

2年5組

「がんばる時はがんばり、楽しむ時は楽しむといった意識を持ってみんなが協力し合えたらもっといいクラスになれると思うし、楽しかったと言える1年になると思う。」

※気持ちの持ち方で結果は大きく変わることを伝えました。

3年3組

「苦しい日や伴奏をやめたいと思った日が何回もありました。そんな時に支えてくれたのは、3組のみんな、そして担任の先生や教職員の皆さんでした。皆が支えてくれたからこそ伴奏を最後まで続けることができました。」

※支えてくれたクラスメートや担任の先生への感謝の気持ちを伝えました。

3年3組

「午後の競技でも男女関係なく、周りも気にせず大声で応援した。うれしいことより悔しいことのほうが多いこともあったけど自分達が自分達を励まし合い、どんなときでも笑顔があった。そんな雰囲気は何かうれしかった。」

※体育大会での応援が心に残り、笑顔が広がったことを伝えました。

